

1. 研究課題名：国際都市間協働によるアジア途上国都市の低炭素型発展に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属：

加藤 久和（(財)地球環境戦略研究機関）



3. 研究実施期間：平成21～23年度

4. 研究の趣旨・概要

アジア途上国都市における温室効果ガスの排出量については、マクロデータをもとにした推計がほとんどであり、個別施策の排出量や個別の低炭素施策の促進策についての研究はいまだ不十分である。

本研究は、いくつかのアジア途上国都市における低炭素型発展、とりわけ民生、交通、住宅・家庭・中小企業における省エネ、環境調和型の行動がいかなる個別手法と政策手段によって可能になるかを調査し、アジア途上国にとって便益のある低炭素社会構築の方策を究明する。その上で、神奈川県や北九州市などの日本の自治体との国際協働によって、アジアの発展段階が異なる都市における低炭素型発展に向けた地域主導の取り組みを促進するための国際都市間組織・制度を提案することを目的とする。

さらに日本の自治体、低炭素都市推進協議会、環境省、JICA、及び各種国際環境ネットワークによって低炭素型発展に関わる協働施策が採用されることを目指す。また、アジア途上国都市における住宅・家庭・中小企業の省エネ、交通、及び廃棄物・排水分野などの低炭素型発展個別手法及び政策手段に関して、国際ネットワークを通じた学習、採用、及び波及の仕組みが準備され、実際の普及に貢献できることを目標とする。

5. 研究項目及び実施体制

① アジア途上国都市における低炭素型発展施策とその推進メカニズムに関する研究
（九州大学炭素資源国際教育研究センター）

② 日本の自治体における低炭素社会構築及び地球環境問題への取り組み促進施策に関する研究（法政大学）

③ アジア途上国都市と日本の都市との低炭素型発展パートナーシップの形成・推進に関する研究（(財)地球環境戦略研究機関）

6. 研究のイメージ

サブテーマ1 アジア途上国都市における市民生活に関わる 低炭素型発展施策とその推進メカニズム



道路照明省エネ



高速バス輸送



廃棄物バイオガス利用



廃棄物堆肥化



排水バイオガス利用

アジア低炭素型発展に向けた地域主導の施策推進と国際協働 「心(マインドセット)技(技術)体(仕組み)の変革」

サブテーマ3 アジア途上国都市と日本の都市との 低炭素型発展パートナーシップ

- 変革を目指すビジョンの共有
- 知識・経験の自発的相互学習
- 多様で独自の地域の課題の相互理解と互恵的協働



省エネ住宅



住宅太陽光発電



バイオマス利用



次世代型路面電車



徹底資源分別再利用

サブテーマ2 日本の自治体における低炭素社会構築及び 地球環境問題への取り組み施策の促進